



利用規定を周知することが「最大の抑止力」 業務管理から紛失対策まで、位置情報をフル活用!!

スマートフォンの業務利用の現状

フィーチャーフォンからスマートフォンへ お客様の対応もスピード UP !!

—スマートフォンの業務利用方法についてお聞かせください。

スマートフォンを導入したのは2014年7月です。それ以前はBYOD形式で業務上の通話も私物の携帯電話を利用してもらい、通信費用として毎月の補助を行っていました。しかし業務上、外出する社員が多いことから「外出先からもメールが見たい!!」という声が出始めました。そこで補助をやめ、スマートフォンを社員に貸与しました。今では外出先からメールの確認や返信、グループウェアでリアルタイムに予定の確認ができるなど、お客様への対応スピードが向上し、生産性は上がっていると感じています。

導入の経緯

スマホ導入時に必須の管理ツール 決め手は「多機能低価格」と使いやすい管理コンソール

—LanScope Anを導入することになった経緯と決め手をお聞かせください。

スマートフォンの導入を検討する過程で、課題に上がっていたのが「紛失・情報漏えい対策」です。ちょうど弊社の営業が展示会で持ち帰ってきたLanScope Anのカタログを見ました。実際に体験版を利用したところ、管理用コンソールは直観的で使いやすく表示速度も非常に速いので、運用にストレスを感じることはありませんでした。また、紛失時のリモートロック・ワイプ機能はもちろん、資産情報の収集やインストールアプリの把握、位置情報の自動取得など多彩な機能を低価格で標準搭載している点に魅力を感じ、導入を決めました。LanScope Anのアプリのインストールする作業も簡単でしたので、運用もスムーズに始めることができました。



株式会社ヴァンクール

<http://www.vqr.jp/>

- 従業員数 :20名
- 設立年月日:2004年6月16日
- 資本金:10,000,000円
- 製品ライセンス : An 17CL 導入機種 iPhone5s

現在、情報通信分野をとりまく環境は日々進化し、様々なサービス展開がなされる中、お客様の選択肢は広がったとはいえ、複雑化しているのも事実です。このような状況下において、お客様の視点に立ち最適な通信環境を構築しご提案すること、それが当社、株式会社ヴァンクールの使命であると考えます。



An導入効果①

「禁止よりも抑止、高性能なスマートデバイスを有効活用
社内規定の作成・通知が抑止効果発揮の原点

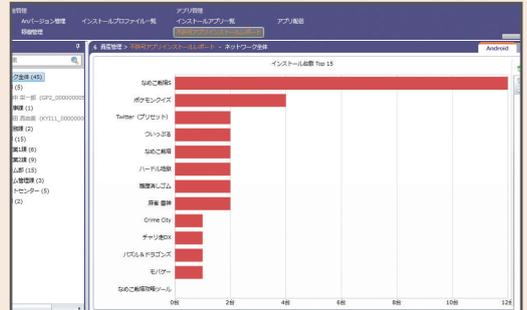
—LanScope Anの運用方法や効果についてお聞かせください。

まず必要性を感じたのは、スマートフォンの社内利用規定の作成です。インストールされているアプリの情報や位置情報の取得を無断で行うよりも、利用規定と管理方法を社員に認知してもらった方が、不正な操作の抑止につながると判断したからです。

とは言うものの、利用規定作成のノウハウが無かったので、エムオーテックスにサンプルの規定と誓約書をいただき、弊社独自のルールなどを加筆・修正しました。また社員へスマートフォンを貸与する際に規定の説明もいっしょに実施し、理解を深めることができました。

—具体的にどのような規定を敷いていますか？

例えば、「業務上必要とされないアプリの利用を禁止」しています。管理者側で許可したアプリのみ、利用を許可する運用も考えましたが、スマートフォンの利便性が落ちてしまうので、業務上必要なアプリならば、どんどん有効活用してほしいと考えたからです。この規定をもとに、LanScope Anで各端末にインストールされているアプリ一覧を確認しています。導入当初は業務に不要と思われるアプリをインストールしている社員がいましたが、事情を確認した上で注意を施すことで、今は適正にスマートフォンを利用してくれています。



【不許可アプリインストールレポート】

An導入効果②

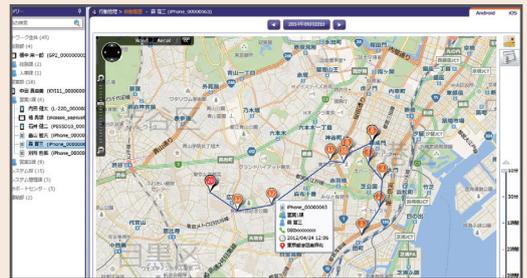
直行直帰の業務管理からサポート業務まで
位置情報の有効活用が生産性向上につながる起点に

—取得した位置情報はどのように活用されていますか？

業務の都合上、お客様先への直行や直帰が多く、場合によっては休日出勤も認めており、そのためのエビデンスを残す必要がありました。

しかし今ではグループウェア上の予定とLanScope Anで取得している移動履歴を照らし合わせているので、今まで以上にエビデンスが取れる点は大きいと実感しています。

弊社では数百家にのぼるお客様のシステム保守サポートも業務の一環として行っています。お客様より急遽、お問い合わせが入ることもある為、LanScope Anの最新の位置情報を利用し、お客様先に一番近くにいる社員に連絡を取り対応するようにしています。管理ツールとして導入したLanScope Anが業務にも利用できているので大変満足しています。また今は発生していませんが、紛失時にスマートフォンを発見するための一つの情報にもなり得ると考えています。



【移動履歴画面】

今後の展望

不明点もすぐに解決
信頼のサポートセンターが「安心」を保障します

—今後の展望についてお聞かせください。

これまでMDMツールは紛失対策のための保険と考えていました。しかしLanScope Anは普段から利用できる機能が多く、最適なコストで運用できます。今では毎日、管理コンソールを確認していますが、まだ使っていない機能があるので、弊社に合った運用方法を見つけて更に活用していこうと考えています。

また体験版利用時から現在まで、何回もサポートセンターを利用していますが、対応の早さ・正確性に非常に助かっています。弊社はLanScope Cat (IT資産管理・情報漏えい対策ツール) やLanScope Anをお客様に提案する立場でもありますので、安心してこれからも提案をしていきたいと思えます。



【MOTEX サポートセンター】

エムオーテックス株式会社

【大阪本社】〒532-0011 大阪市淀川区西中島5丁目12-12 エムオーテックス新大阪ビル
 【東京本部】〒108-0075 東京都港区港南1丁目2-70 品川シーズンテラス5階
 【名古屋支店】〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1丁目11-11 名古屋インターシティ3階
 【九州営業所】〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-15-20 NOF博多駅前ビル2階

☎ 0120-968995 受付時間 9:00-18:00 (月～金曜日)

お問い合わせ先: